

市川自然博物館

12・1月号

（通巻71号）

だより

花 V 『樹の花』 の特集



△ コブシの花

春を告げる白い花です。花の中には、らせん状に並んだ多数のおしべとめしべがあります。

*写真をカラーでご覧いただけます。 ホームページ版『博物館だより』もどうぞよろしく。
<http://www.city.ichikawa.chiba.jp/nature/>

花 V 『樹の花』

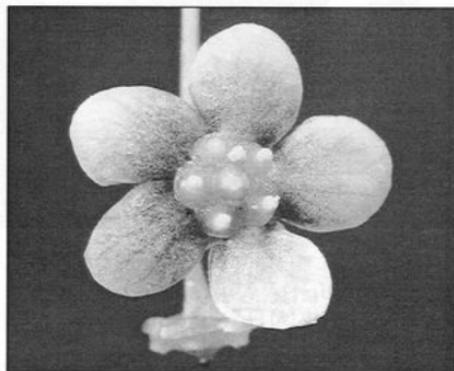
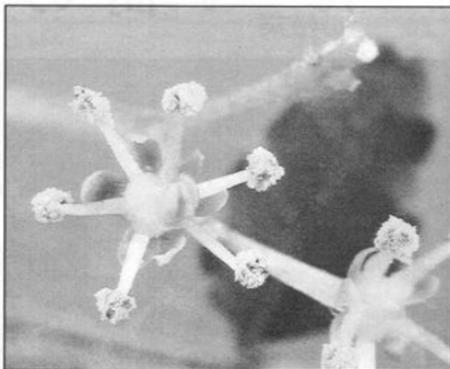
の特集

樹の花には、コブシや桜のように美しく人目を引くものがあります。一方で、小さかったり見た目が地味だったりして、ほとんど気に留められないものもあります。今号では、樹の花を拡大撮影した写真を用い、いつもとは違う一面をご覧くださいと思います。ルーペを用いて観察する時の視点です。

サンショウ

写真は雄株の花のアップです。実際の花は5～6ミリ程度の大きさです。花には花びらと萼の区別がなく、そのため一見すると花びらがないように見えます。雄しべは長く、その先で黄色い花粉が吹き出しています。野外ではこの花粉の色が目立ちます。

(花：4月 ミカン科)



ツリバナ

直径1センチほどの円い形をした花です。中央に「花盤」と呼ばれる部分があり、そのまわりに5枚の花びらがついています。雄しべは花盤上に5つ、花びらと交互の位置にあり、花盤の中央には雌しべがあります。紅色を帯びた美しい花です。

(花：5月 ニシキギ科)



ミズキ

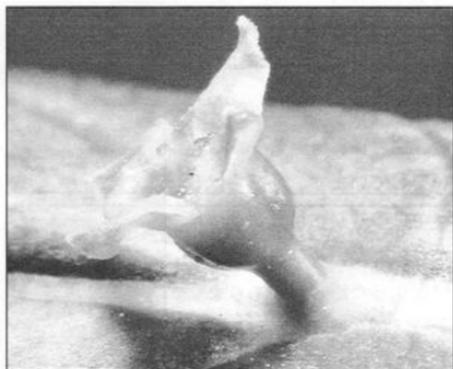
5月ごろ、白くて目立つ花を咲かせます。花のひとつひとつは直径1センチ程度で、細長い花びらが十字に開きます。十字の中央には雌しべがあり、花びらと交互の位置に長い雄しべがあります。写真では、花どうしが重なって写っています。

(花：5月 ミズキ科)

ハナイカダ

葉っぱの真ん中に花が直接咲くため、変わった植物として知られています。写真では左右に伸びている白い帯が葉の中央の脈で、そこに斜め上向きに花がついています。花は小さくて5～6ミリ、色も緑色です。野外で咲いていても目立ちません。

(花：5月 ミズキ科)



ゴンズイ

秋～冬に、赤い実がよく目立つ樹木です。花は数ミリ程度で小さく、花びらは萼とよく似ていて、ともに緑色をしています。花は鐘形で中に雄しべと雌しべがあります。花粉は黄色で鮮やかな色をしています。花があまり開かないので目立ちません。

(花：5月 ミツバウツギ科)



アカメガシワ

芽出しが鮮やかな紅色となることで知られています。雄株と雌株に分かれ、ともに花には花びらがなく、雄しべ、雌しべがむき出しになっています。写真は雄花を拡大したもので、多数の雄しべが、吹き出すように広がっています。

(花：6月 トウダイグサ科)

ヌルデ

ウルシの仲間で、夏に小さな花を房状に多数咲かせます。写真は雌株の花で、直径は5ミリ程度、白、黄、紅と鮮やかな色合いをしています。花びらは5枚、中央の雌しべは先が3つに分かれ、また、花びらのつけ根には退化した雄しべがあります。

(花：9月 ウルシ科)



ヤツデ

写真は花を斜めから写したもので、大きな花盤に5個の花びらと雄しべがついています。ひとつの花に雄性期と雌性期があり、写真は雄の時代です。この後、花びらと雄しべを落とし、花盤中央の雌しべが伸びてきて雌の時代になります。

(花：12月 ウコギ科)



街かど自然探訪

おじやします!

みなみおおの

南大野・こごと公園の大きな池

高層マンションや住宅にぐるりと囲まれたこごと公園は、2つの人工の池からなります。池の岸が垂直な壁なので、人間は直接水辺に近づけず、それが鳥にとっては人との適度な距離になっています。加えて水鳥が好きな開けた水面と、隠れ場所になる小さなヨシ原もあります。今春には、市内では珍しい、バンやヨシゴイなどが子育てをして話題になりました。冬にはカモの仲間がたくさん飛来し池はさらににぎやかになります。



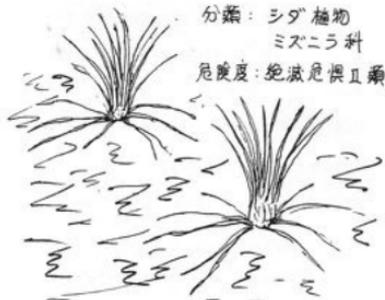
RDB レッドデータブック

掲載種紹介



ミズニラ

水中や湿地に生育するシダ植物です。シダといっても全体の姿はニラの株を思わせる単純なもので、一般的なシダの印象とは異なります。市内最後の確認は、大きな谷津の最奥部の水田でした。そこは埋められましたが、株を長田谷津（大町公園自然観察園）に移植し保護しました。順調だった移植株はその後消滅し、現在は、土中に残ると期待される胞子からの復活を待っている段階です。市川では、限りなく絶滅に近い状態です。

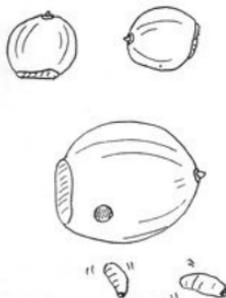


どんぐり虫はどうなるの……

「9月下旬に小塚山で拾ってきたクヌギのどんぐりから、幼虫が出てきました。でも、何をしたいのか、どうすればいいのかわかってもこたえず、毎年困っています。今年は成長した姿が見たくなり、土のうえに腐葉土をのせ、どんぐりと虫を置きました。虫はもちろん、どんぐりに後戻りはせず、ごよごよと腐葉土を掻き分けもぐっていきました。」

—続報が待たれます。

(情報提供：水垣麻理子さん)



むかしの市川



このコーナーでは、博物館が1986年に
行ったアンケート調査の結果から、むか
しの市内の様子を紹介しています。

(原則として回答の原文のまま)

・私の子供の頃は(昭和5~15年)民家も
少なく、北方、中山、宮久保、千足に
少数の家があったほかは、畑、田んぼ
ばかりでした。新川(真間川の支流、
現在の大野、北方の間の川)の現在の
名は判らない、で泳いだり、雨が降る
と、田んぼに入ってくるどじょうを、

洞(竹で作った魚を取るしかけ)で取っ
たりしていました。(中略)冬は、凍っ
た田んぼで、くつ、ながぐつ等で滑っ
て遊びました(現在よりずっと気候が
寒かったそうです)。他の遊びとして、
凧あげは、北方から上げて、中山まで
とどきました。(北方)

・江戸川の中程は浅く、泳いで行くと立
てた。川の水は清らかで、各家庭では
飲み水にも使った。大正の頃1丁目か
ら八幡までトロロコが通っていたが、
その後馬車になった。(伊勢宿)

◆大町公園より

- ・キツネノマゴ、ヨメナ、ジュズダマ、フジカンゾウなど秋の花々が咲きだしました(9/4)。
- ・アオジを見ました(10/30)。先週くらいから鳴き声は、聞こえていたのですが、草が倒れて空間ができてきたので、姿もずいぶん見られるようになりました。

金子謙一(自然博物館)

- ・ウラナシジミがカナムグラに止まっていた(9/22)。毎年この時期に暖かい地域から飛来してきます。

清野元之(自然博物館)

- ・サンコウチョウを見ました(9/21)。シジュウカラやメジロの若鳥の群れに混じっていました。

宮橋美弥子(自然博物館)

◆柏井雑木林より

- ・カラカサダケの一種が白い傘を広げている姿が見られました(9/14)。
- ・ショウリョウバッタモドキを見ました(10/19)。図鑑では見るものの、なかなか出会えない虫です。サトクダマキモドキもはじめて見つけました。

金子謙一

◆国府台付近より

- ・江戸川河川敷でホバリングをするチョウゲンボウを見ました(8/26)。

◆里見公園より

- ・シジュウカラの群れの中にヤマガラを見ました(9/9)。

◆小塚山市民の森より

- ・サメビタキとマミチャジナイを見ました(9/23)。

◆じゅん菜池公園より

- ・ハシビロガモ8羽とヒドリガモ3羽が池に来ていました(9/23)。
- ・カワセミを見ました(9/23)。水面すれすれをチーと鳴きながら飛んでいました。

◆菅野周辺より

- ・雨降る自宅の庭にキビタキ1羽が来ました(10/9)。

以上 根本貴久さん(菅野在住)

◆北方4丁目付近より

- ・ジョウビタキとカシラダカを見ました(10/26)。

石井信義さん(菅野在住)

◆江戸川放水路より

- ・オナナガモの第一陣がやってきました(10/13)。

小川 晃(自然博物館)

◎9月初旬は残暑が続きましたが、中旬を過ぎたころから秋を感じられるようになりました。



行事案内



§ 申込の必要な行事です §

自然観察会

毎月テーマを変えて市内各地にてでかけます。

- 対象 … 今回は親子コースと一般コースの合同コースになります。
参加はどなたでもどうぞ。
- 定員 … 各回先着20名

テーマ	日時	場所	受付開始
生き物の冬越し	1月14日(日)午前	柏井雑木林	12月16日～
地層の観察	2月18日(日)午前	大町周辺	1月27日～

〒申し込み方法

往復はがきに参加者全員の住所、氏名、年齢、電話番号、行事名を明記の上、自然博物館までお申し込みください。

§ 申込の必要はありません §

直接会場にお越しください。

柏井散策会

市内で一番大きな雑木林を散策し、四季の自然を楽しみます。

申し込みは必要ありません。はじめて参加される方は、事前に博物館にお問い合わせください(交通手段等ご案内します)。

- ・日時 12月16日・1月20日(毎月第3土曜日) 午後1時30分～3時
- ・雨天や降雪などの場合は中止です。

自然講座

いろいろな自然の話題を紹介する室内講座です。

- 時間 午後6時～8時
- 会場 市民談話室(国道14号線本八幡駅前交差点角)
- 内容 1月20日(土)「市川の山野草 パラ科」金子謙一
1月27日(土)「市川の地層紹介 成田層」宮橋美弥子
2月3日(土)「スズメバチの生態」小川晃
2月10日(土)「千葉県産の蛾類 カイコガ科～ヤママユガ科」清野元之

年末年始の閉館日は…

年内は12月27日(木)まで
年始は1月2日(火)から

市立市川自然博物館だより
 第12巻 第5号 (通館第71号)
 発行日/平成12年12月1日
 編集・発行/市立市川自然博物館
 〒272-0801 千葉県市川市大町284番地
 ☎047(339)0477
<http://www.city.ichikawa.chiba.jp/nature/>